

学習指導案

科目名	情報の科学	担当者		実施日	令和6年11月19日				
単元名	情報システムが支える社会		2時間目 / 6時間数						
主題	人間生活や社会全体への影響								
本時間の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化が人間生活や社会全体に及ぼす影響や問題について理解する。 ・インターネットの利用の仕方を日常生活と関連づけて考え、今後に生かすことができる。 								
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価				
					具体の評価規準との対応				評価方法
					関	思	技	知	
導入	10	本時の目標につなげる	1, 前時の授業の振り返り 「サービス利用と個人情報」の内容の問題を解き、前時に学習したことの復習をさせる。 2, 現状把握 日常生活の中で携帯電話・タブレット・PCなどを使用する時間や用途といった現状を確認する。 3, 情報化が及ぼした人間への影響や問題を考える。 ※健康被害や社会的な影響、問題	○前回の学習がどの程度理解できているか確認する。 ○クラスの現状をまとめ、次の活動につなげる。 ○ワークシートに記入させ、その後発表してもらう。(グループ交流→全体交流) ○積極的に意見を出し合える雰囲気を作る。					
	10	テクノストレスについて	4, 用語説明 実際に起こっている健康被害の例を挙げて説明する。 5, インターネット依存症にならないための方法 インターネットに依存しないためのルールを考えてもらう。	○導入3の生徒の意見も関連付けて説明する。 ○ルールをワークシートにまとめるよう指示する。	○				行動観察 ワークシート
	8	情報格差について	6, 用語説明 情報格差とは何か。また他国とも比較する。	○グラフを読み取り、生徒にも発表してもらう。			○		発表
展開	12	メディア産業について	7, 情報メディア産業の説明 情報化社会が産業にどんな影響を及ぼしたか説明する。 8, 産業構造の変化について 生徒に教科書のグラフを読み取ってもらい変化を明確にする。	○教科書と組み合わせで分かりやすい説明を行うようにする。 ○生徒が日ごろ使用しているアプリを例に挙げてイメージしやすくする。 ○ワークシートに変化を記入させる。 ○生徒が悩んでいる場合は、ヒントを出す。				○	行動観察 行動観察 ワークシート
	10	本時のまとめ	8, 1時間の振り返り 目標の達成度をワークシートにチェックさせる。 本時の感想を言葉で記入する。	○ワークシートで授業の理解度を自己評価させる。 ○生徒自身の言葉で授業をまとめてもらう。 ○感想を書かせるときは、今後の生活に関連づけて考えるように声掛けをする。				○	ワークシート